昭和57年 第808号
8月22日

市報 にいがた

市の人口
前月比
人口 457,487 (＋11)
男 224,152 (＋10)
女 223,335 (＋1)
世帯数 146,869 (－38)
57年7月末日現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 代表(28)1000
編集人 二宮省三
(担当企画部広報課)
印刷所 ㈱第一印刷所

高校生体験ボランティア
なかなか難しいわ

「夏休みに、福祉施設や地域社会で実際にボランティア活動を体験しよう」と、高校生夏休み体験学習のつどいが、八月四日から十日まで有明福祉タウンを中心に開かれ、高校生たちは一生懸命実践活動に取り組んでいました。

このつどいは、市や市社会福祉協議会などが主催し、毎年行っているもので、今年が三回目。今年から新たに、体の不自由な人たちが自由に街に出られるようにするため、毎年イスや目の不自由な人たちと一緒に「街の点検活動」も行いました。

参加者は、市内の高校生六十四人。このうち男性はわずか一人で、圧倒的に女性が多くなっています。昨年の参加者も六人含まれています。

高校生たちは、松風園や有明園などで奉仕活動を行う「施設活動班」、障害者の家庭を訪問する「在宅訪問班」と「街の点検班」の三つに分かれ、さっそくヘルパーさんと一緒に実践活動に入りました。

寝たきり老人を収容する特別養護老人ホーム有明園（定員五十人）では、高校生十人が、昼食の介助、話し相手、車イスや散歩の介助――などを体験しました。

散歩には、高校生が寝たきり老人を車イスに乗せて屋外に連れ出し、木陰でお年寄りと一緒に歌やゲームに興じ、楽しい一ときを過ごしました。

参加した高校生の話

近藤尚之さん（新潟工業高校二年）「お年寄りのボランティアは初めての経験。非常にいい機会に恵まれました」

坪井利江さん（新潟第一高校一年）「一度ボランティア活動をやってみたかった。お年寄りが話すのがよくわからなくて困った。これからも機会があればやってみたい」

早川明美さん（新潟第一高校一年）「お年寄りと話題が合わないことや車イスに乗せて相手に振動を与えないようにするのはたいへんだった。だけどこれからも続けたい」

ヘルパーさんと一緒に老人を車イスに乗せて散歩させる高校生（右）

57年度国民健康保険料 申告書の提出を！

五十七年度国民健康保険料の申告書の受付会場を次の通り設置します。申告書の提出や記入上わからないことがありましたらご相談下さい。

申告書は国保加入世帯の正確な所得を把握し、正しい保険料を計算するためのものです。申告がない場合には、保険料軽減措置の適用を受けられないこともありますので必ず申告して下さい。

〈申告書を提出して頂く方〉

市から申告書が送付された世帯で次に該当する方

①所得金額の多少にかかわらず五十六年中に所得があり、所得税または市民税の申告書を提出していない人

②障害者、未成年者（二十歳未満の人）、老年者（六十五歳以上の人）および寡婦で、五十六年中の所得が八十万円以下であった人（市民税非課税の人）

③遺族が受ける恩給や年金、休業補償、仕送りなどの非課税所得がある人

持参品 申告書、印鑑、所得税・市民税申告書の控、その他申告に必要な書類

問い合わせ 市国民健康保険課（☎28－1000）へ

申告書受付会場

会場	期間	時間
国民健康保険課（市役所別館2階）	8月27日～8月31日	午前9時～午後5時（土曜日は正午まで）
東・西・北・中の各地区事務所	8月30日 8月31日	午前9時～午後4時

老人健康診査

お年寄りの疾病の予防と早期発見、早期治療を目的に毎年九・十月に行っています「老人健康診査」は、今年度は十・十一月に変更して実施します。

対象者 六十歳以上のお年寄り（大正十二年三月三十一日までに生まれた人）

詳しい内容は、後日、市報にいがた」で知らせします。

10・11月に実施します

当世にいがた模様

雄壮な松浜太鼓

松浜では、あさって二十四日から、雄壮な松浜太鼓が鳴り響く。松浜まつりの始まりだ。

日本海と阿賀野川を基盤に、漁業の町として栄えてきた松浜。まつりも町の歴史と結び付く。漁猟の神・山の上の松浜稲荷神社の祭礼と港まつりの流れを引く。「大漁旗を掲げた船がいっぱい出てね」と平岩与太郎さん（松浜七）は昔を懐しむ。

まつりの花形は松浜太鼓。「松浜のメーンになるものをと思い、六年前太鼓を作りました」と上松一さん（北新潟商工振興会青年部長）。「町に活気が戻りましたよ」（太鼓部長の森岡満さん）。二日間町中を回り、まつり気分を盛り上げる。

夜になれば、稲荷神社の広い境内には二百余もの夜店が並び、歩くのもやっとの込みようになる。民謡流しには、新興住宅地の人も加わり、二千人が参加する。

そして、花火が夜空を彩り、阿賀野川の水面に映える。花火は松浜の自慢だ。川の土手の上は人で埋まり、ゆく夏を惜しむ。

松浜・酒屋・内野まつり
―新潟のまつり②―

伝統の神輿

酒屋まつりは八月三十・三十一日に開かれる。町の中心にある諏訪神社の祭礼に合わせている。元亀元年（一五七〇年）創立の歴史を持つ古い神社だ。

まつりの幕開けは、宵宮の民謡流しと伝承芸能「太々御神楽」の奉納だ。翌三十一日は、神輿や山車などの行列が町中を練り歩く。行列の長さは百五十メートル以上に及び、沿道は近郊からの見物客で埋まる。

「神輿は酒屋の宝物」と語る北上徳衛さん（酒屋町）。「京都の祇園で作られたものを、弘化三年（一八四六年）、酒屋の大地主が買い受けた。金貼りで格式があります」神輿の後ろには上酒屋、中酒屋、下酒屋に分けて競い合う。機関車のD51や安進丸も登場した。

夕暮れからは、行列に踊りや灯ろう流しも加わり、夜遅くまで町はにぎわう。

古い伝統を確実に受け継いでいる酒屋である。

人気の山車

秋の訪れとともに内野まつりはやってくる。九月十四日から十六日までの三日間、内野はまつり一色になる。

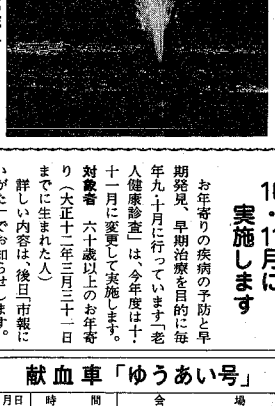
上のお宮（内野三番町）、下のお宮（同二番町）の祭礼に合わせ、民謡流し、小・中・高校の鼓笛隊、ブラスバンドのパレード、町内山車引き回し、神輿渡御、花火大会―が繰り広げられる。

「内野の自慢は、子供から年寄りまでみんなが参加できること」と、牧田博さん（内野町商工会）は言う。

町内山車は、毎年人気を呼ぶ。特に十五日は見物客で内野四ツ角は大混雑だ。大学南が丘・平和台など新しい町内も参加し、山車の数は十台余。あちこちでご祝儀が出され活気づく。

古島正幸さん（内野町）は、「子供たちに喜ばれるものを作ります。ドラエモンやガンダムとかね。十二日あたりからは徹夜ですよ」と話す。

まつりは、花火大会で幕を閉じる。新川沿いに人がビッシリと並ぶ。最後の大スターマインが消えると、いよいよ本格的な秋がやってくる。


阿賀野川に映える 松浜自慢の花火

献血車「ゆうあい号」

月日	時間	会場
8・23	午前9時半～午後3時	新潟駅前
8・24	午前10時～午後4時	日本マクドナルド万代シティ店前(万代1)
8・25	午前9時～午後3時	東芝新潟ビル（上大川前1）
8・28	午前9時半～午後3時	新潟駅前

※正午から1時までは受け付け休み

夏休み親と子の映写会

日時 8月25日午後1時～3時10分
会場 鳥屋野地区公民館4階ホール
作品 「ジャンバルジャン物語」「ミッキーマウスとプルート」「ぼくはSLをみた」（入場無料）
申し込み 直接会場へおいで下さい。

第5回新潟県少年少女合唱団 合同演奏会

日時 8月24日午後1時半開演
会場 県民会館大ホール
入場料 300円

ちぎり絵教室

日時 9月～12月第2・4火曜日午後2時～4時
会場 老人憩いの家「沼垂荘」
対象 60歳以上の方20人（先着順）
費用 材料費1回800円程度
持参品 はさみ、鉄筆、筆、台紙、おしぼり
申し込み 9月6日までに、電話で市老人福祉課（☎28―1000、内線489）へ

紙フラワー教室

対象・定員 60歳以上の方、各会場30人
会費 無料
申し込み 9月1日までに、電話で市老人福祉課（☎28―1000、内線489）へ

〈有明センター会場〉
日時 9月～12月毎月第1・3金曜日午前10時～正午

〈明和荘会場〉
日時 9月～12月毎月第2・4水曜日午前10時～正午

江東郷土史講座

月日	内容
9・9	古地図等と現在の比較
9・16	川欠けと豚舗、町割り
9・30	スライド、地図を使い歴史の移り変わりを知る
10・7	町の発展に伴い周辺の村々がどのように変わったかを学習
10・14	地名、町名の由来、地番の決まり方

時間 午後6時半～8時半
会場 市青年の家
定員 25人（先着順）
講師 学校教諭、郷土史家
申し込み 8月28日（必着）までに住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、返信用封筒（60円切手貼付）を同封のうえ、中央公民館「江東郷土史講座」係（〒951、西堀通6―873）へ

プール休館のお知らせ

◘西海岸プール…8月29日、9月2・7・8日（9・10日は予備日）は、各種水泳大会のため、屋外、屋内とも利用できません。

◘鳥屋野総合体育館屋内プール…9月2日～19日までの間、改修工事のため屋内プールは休館します。9月20日から平常どおり開館します。

もくじ

◈57年度下半期予防接種日程表（二・三面）
◈「市民の意見を聴く会」開催～バス運賃値上げ～（四面）
◈我が家の食卓コンクール 入賞者決まる（四面）